

明石駅前が「にじいろ」で彩られた理由



パピオスあかし北側の中央階段が6色のレインボーカラーに。明石駅コンコースからも目を引く。

6色は性の多様性のシンボル

明石にじいろキャンペーン 2月末まで

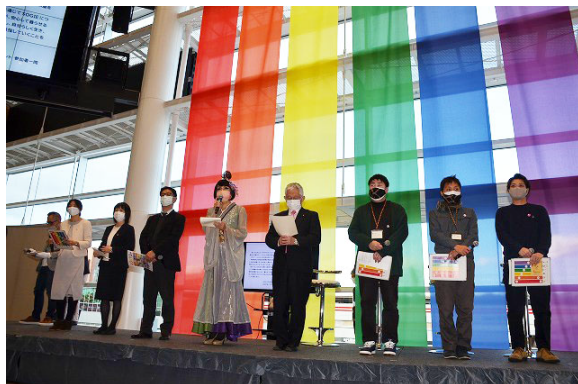
明石市では、誰もがありのまま生きられるまちを目指し、多様な家族のカタチを認める明石市パートナーシップ・ファミリーシップ制度の導入に合わせて、LGBTQ+フレンドリープロジェクトを始動させました。あかし市民広場北側のガラス面やパピオスあかし2階へつながる階段など、様々な場所が6色のレインボーカラーで彩られているのは、このプロジェクトの一環です。

LGBTQ+フレンドリープロジェクト

「ありのままがあたりまえのまちづくり」を目指している姿勢を、まちのあちこちで見える化したものです。ほかにも明石市のキャラクターとメッセージを描いたPRフラッグや様々な施設や店舗に掲示されたポスターやステッカー、ミニフラッグなど、いろんなところに「にじいろ」を見つけることができます。

LGBTQ+
レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニングなどの性的少数者の総称。

ありのままがあたりまえのまちづくりをみんなで



明石市は、LGBTQ+フレンドリープロジェクトのキックオフイベントを1月9日にあかし市民広場にて開催しました。女装パフォーマーでライターのブルボンヌ氏や関西を中心に活動するLGBTQ+当事者の方々がゲストに迎え、講演やクロストークで盛り上がりました。

イベントのオープニングでは、幅6メートル・高さ12メートルの巨大レインボーフラッグが披露されました。青い空をバックに、音楽とともに登場した巨大フラッグは圧巻でした！ブルボンヌ氏の講演、登壇者の皆さんを交えたクロストークの後、参加者全員による「明石にじいろ宣言」でイベントのフィナーレを飾りました。



巨大レインボーフラッグ

1月9日のキックオフイベントのオープニングで登場した6色のタペストリーが並んだ巨大レインボーフラッグは、キャンペーンが終了する2月末まであかし市民広場に掲示されています。キャンペーン期間中に

も同会場では様々な催しが予定されていますが、その背景として吹き抜けのガラス面を彩り続けます。夜になると、中の照明がフラッグを浮かびあがらせ、また違った表情を見ることができま

みらいと

カラフルななかまたち

新キャラクター登場！

明石市のキャラクターと言えど、どんなものが頭に浮かびますか？時のわらしやパパたこ、シゴセンジャーなどいろんなキャラクターがこれまでも活躍していますが、今回はなんとこのプロジェクトと一緒に盛りあげ続けてくれる新キャラクターが登場しました。

新キャラクター「みらいとカラフルななかまたち」は、キャンペーンの横断幕や配布しているしおり、スタンプラリーでもらえる缶バッジにも登場しています。ぜひ見つけてみてください！



明石のまちで見つけたにじいろのある風景

「小さなレインボーフラッグ」



今回のキャンペーンを機に、明石のまちにはポスターやステッカーなど、レインボーを散りばめた様々なPRグッズが飾られました。このプロジェクトは「まちづくり」として進められていることから、掲示されたポスター等は公共の施設にとどまらず、商店街やショ

ッピングモール、飲食店や駅など、いたるところで目にすることができます。中でも目を引くのが、お店のカウンターなどに飾られた小さなレインボーフラッグ。巨大レインボーフラッグのようなインパクトはないものの、店先に旗めくミニフラッグは、まさにまちの風景が変わった象徴だと言わんばかりに小さいながらもその存在をしっかりとアピールしています。

◇明石にじいろキャンペーンの詳細は、コチラからご覧いただけます。



OUT IN JAPAN

写真展キャラバン in あかし
1/8 fri ~ 2/4 thu

